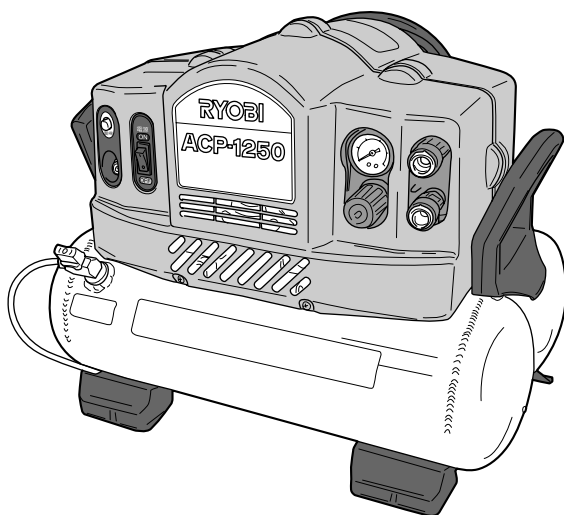


# RYOBI

# エアコンプレッサ

## ACP-1250

# 取扱説明書



## もくじ

安全上のご注意	1 ~ 5
各部の名称	6
仕様・用途	6
ご使用前の準備	7
操作方法	8 ~ 10
使用方法	11 ~ 13
保守と点検	14

このたびは、リョービエアコンプレッサをお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、  
本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう  
お願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

# 安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「（注）」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## 警告

安全作業のために：

### （作業前）

- 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- 作業場（設置場所）の周囲状況も考慮してください。
  - ・エア工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - ・作業場は十分に明るくしてください。
  - ・揮発性可燃物（シンナー、ガソリンなど）、腐蝕性ガスのある場所では使用しないでください。
  - ・直射日光の当たる場所では使用しないでください。運転中に周囲温度が5～40の範囲で使用してください。（軸受寿命低下、焼付き、動作不良、破損の原因になります。）
- 床面が硬く水平な場所で使用してください。
  - ・不安定な場所に設置すると、本機が移動や落下、転倒して事故の原因になります。
  - ・高所（屋根など）で使用する場合は、必ず落下防止（グリップをロープなどで固定）してください。

# 警告

4. 木くずなどゴミ、ほこりの多い場所には設置しないでください。
  - ・過熱事故や異常摩耗の原因になります。
5. 子供を近づけないでください。
  - ・作業者以外、エア工具やコードに触れさせないでください。
  - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
6. 作業に合ったエア工具を使用してください。
  - ・小型のエア工具やアタッチメントは、大型のエア工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・指定された用途以外に使用しないでください。
7. きちんとした服装で作業してください。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. 保護めがねを使用してください。
  - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。
9. 防音保護具を着用してください。
  - ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. 必ずアース（接地）をしてください。
  - ・感電の原因となります。
12. アース線をガス管に接続しないでください。
  - ・ガス管に触れると爆発の恐れがあり、事故の原因になります。
13. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
14. エンジン発電機、エンジンウェルダなどの直流電源では使用しないでください。
  - ・発火や発熱、焼損の原因になります。
15. 電源は必ず単相100Vの電源コンセントを使用してください。
  - ・延長コードやドラムコードを使用する場合は、芯線の公称断面積2mm<sup>2</sup>以上で長さ20m以下のものを全て引出し、延ばした状態で使用してください。公称断面積2mm<sup>2</sup>未満のもののおよびコードを巻いたままの使用は、故障の原因だけでなく、発火、発熱の危険性ありますので絶対に使用しないでください。

# 警告

16. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
    - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
  17. 電源スイッチが正常に作動するかどうか、ご使用前に確認してください。
    - ・スイッチが作動しない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
  18. 製品は大事に取扱ってください。
    - ・誤って落としたり、ぶつけたりした場合には、変形や破損を生じる事があります。
  19. 損傷した部品がないか点検してください。
    - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
    - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店で修理を行なってください。
    - ・スイッチで始動および停止操作の出来ないエア工具は使用しないでください。
- (作業中)
20. 不意な始動は避けてください。
    - ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
  21. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
    - ・エア工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
    - ・疲れている場合は、使用しないでください。
  22. 各部のカバーなどが外れたり、変形などしている状態で使用しないでください。
  23. 無理に使用しないでください。
    - ・安全に能率よく作業するために、エア工具の能力の範囲内で作業してください。
  24. 空気の圧縮のみに使用してください。
    - ・空気以外のガス(プロパン、アセチレン、酸素など)などを吸入すると爆発する恐れがあります。
  25. 本機は、釘打機などの空気工具用のエアコンプレッサですので、連続運転となるような使い方はしないでください。
    - ・製品寿命を早めたり、性能を低下させる原因になります。

# 警告

26. 空気充填のまま長時間、直射日光に当てたり、高温な場所に放置しないでください。
  - ・エアタンク内の圧縮空気が更に高圧になり破裂する恐れがあります。
27. ドレンコックを開きエアタンク内の圧縮空気、水を排出する場合は、排出口に顔を近づけたり、物を置いたりしないでください。
  - ・圧縮空気による、事故やけがの原因となります。
28. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

## (作業後)

29. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
30. エア工具は注意深く手入れをしてください。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・握り部は常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。
31. 製品は大事に取扱ってください。
  - ・誤って落としたり、ぶついたりした場合には、変形や破損を生じる事があります。
32. エア工具の修理は専門店で依頼してください。
  - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
  - ・修理は必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

# ⚠ 注意

1. 使用中は、吸気窓および排気窓をふさがないでください。
  - ・モーター焼損の原因になります。
2. 使用時および使用直後のタンクなどの金属部は、高温になる事があります。これは空気の圧縮熱のため故障ではありませんが、やけどに注意してください。
3. ご使用後はドレンコックを開き、エアタンク内の圧縮空気、水を排出してください。
  - ・水抜きをしないと、タンク内にサビが発生し故障の原因になります。使用後は必ず水抜きをしてください。
4. エアタンク内の圧縮空気、水をすべて排出し終わってから、エアホースを外してください。
  - ・圧縮空気が残ったままエアホースを外すとカブラが跳ね、けがや事故の原因になります。
5. 機体の上に座ったり、重量物を載せたりしないでください。
  - ・破損や亀裂、変形の原因になります。
6. 本機を縦置きにしての運転、運搬、保管は絶対にしないでください。

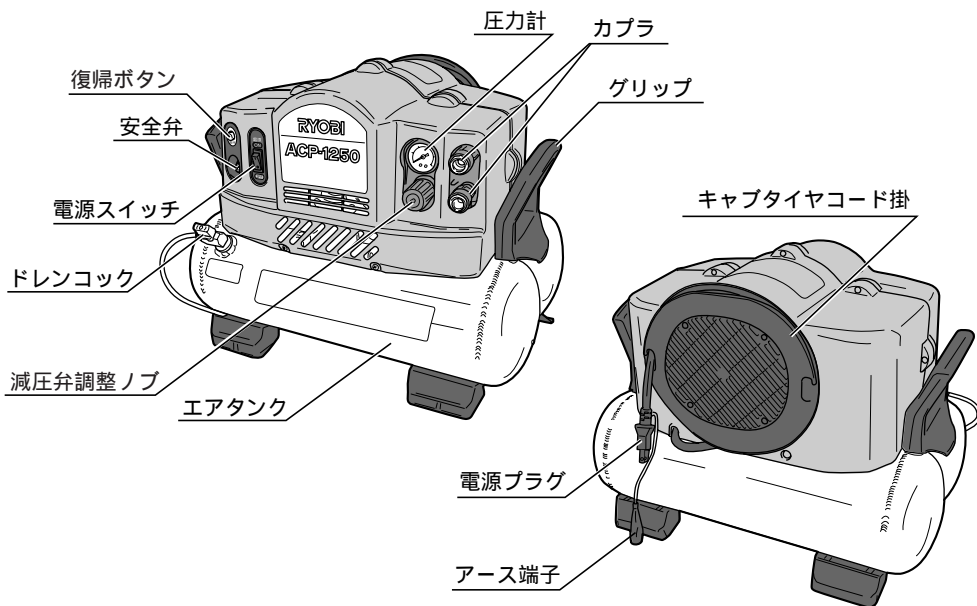
この取扱説明書は、大切に保管してください。

## 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

# 各部の名称・仕様・用途

## 各部の名称



## 仕様

- ・電源 ..... 単相・交流100V 50/60Hz
- ・無負荷回転数 (50Hz) ..... 1,400 $\text{in}^{-1}$   
(60Hz) ..... 1,700 $\text{in}^{-1}$
- ・出力 ..... 1,100W
- ・使用最高圧力 ..... 0.93MPa (9.5 $\text{kgf/cm}^2$ )
- ・制御圧力 ..... 0.74 ~ 0.93 MPa  
(7.5 ~ 9.5 $\text{kgf/cm}^2$ )
- ・吐出空気量 (50Hz) ..... 100 /min  
(60Hz) ..... 110 /min
- ・機体寸法(長さ×幅×高さ) ..... 555×360×410mm
- ・エアタンク容量 ..... 22
- ・コード長さ ..... 2.5m
- ・質量 ..... 25kg
- ・空気取出口 ..... カブラ(クイックジョイント)2個

## 用途

- ・エア工具の動力源

# ご使用前の準備

## 現品の確認

- ・ご使用前に輸送中の破損、変形および部品の紛失がないか確認してください。  
万一異常がある場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

## 延長コードを使用する場合

- ・電圧降下や過負荷によるモーター焼けを防ぐため、出来る限り延長コードを使用せず、エアコンプレッサの電源プラグを直接電源コンセントにさし込んでください。  
延長コードが必要な場合には安全のため、表に準じた工具用のキャブタイヤコードを使用してください。  
家庭用の延長コードは使用しないでください。
- ・ドラム（巻取りタイプ）で使用する場合は、ドラムに巻かれているコードをすべて引出した状態で使用してください。

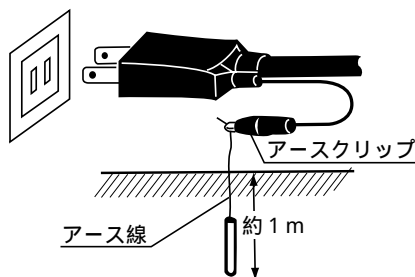
延長コードの太さ （公称断面積）	延長コード長さ
2mm <sup>2</sup> 以上	20m 以下

## 漏電しゃ断器について

- ・ご使用前に、本機が接続される電源に感電防止用漏電しゃ断装置（漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の市販品の漏電しゃ断器をご使用ください。  
（労働安全衛生規則第333条、第334条、電気設備の技術基準第18条、第28条、第41条）

## アースについて

- ・感電事故防止のため、ご使用に先だち必ず接地（アース）してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- ・アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと機体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
- ・アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。





# 操作方法

## 電源スイッチ

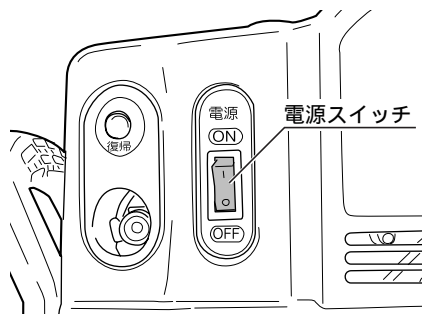
### ⚠ 警告

- ・電源スイッチが正常に作動するか、ご使用前に確認してください。スイッチが作動しない場合は、お買い上げの販売店にお問合わせください。

- ・スイッチがONの状態状態でタンク内の圧力が0.93MPaになると、自動的にモーターの電源は切れ、0.74MPaまで下がると再起動します。

(注)

モーターの起動・停止は手動スイッチで行なってください。スイッチONの状態状態で電源プラグによる起動・停止はしないでください。



## ドレンコック

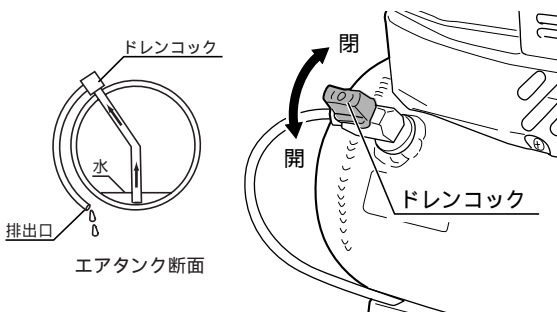
### ⚠ 警告

- ・ドレンコックを開きエアタンク内の圧縮空気、水を排出する場合は、排出口に顔を近づけたり、物を置いたりしないでください。圧縮空気による、事故やけがの原因になります。

### ⚠ 注意

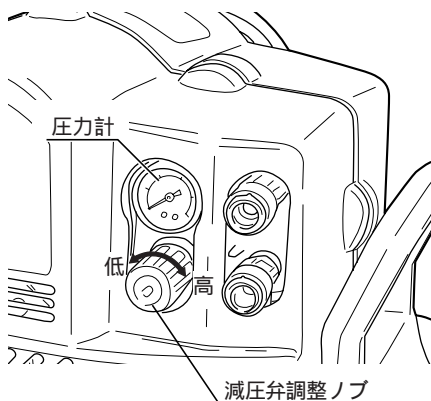
- ・ご使用後は、ドレンコックを開き、エアタンク内の圧縮空気、水を排出してください。水抜きをしないとエアタンク内にサビが発生し、故障の原因になります。使用後は、必ず水抜きをしてください。

- ・ドレンコックは左に回すと開き、右に回すと閉まります。
- ・運転中はドレンコックを右にいっぱい回し、全閉状態にしてください。
- ・ご使用後は、ドレンコックを開きエアタンク内の圧縮空気、水を排出してください。



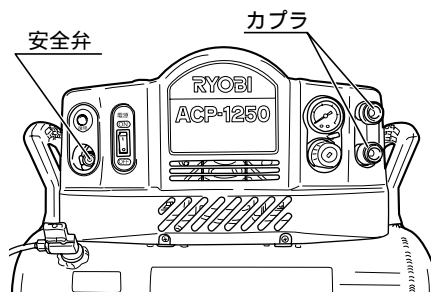
## 減圧弁、圧力計

- ・吐出し空気の圧力は、圧力計で表示されます。吐出し空気の圧力調整は、減圧弁調整ノブにより行ないます。
- ・減圧弁は調整ノブを手前に引き、右に回すと圧力が高くなり、左に回すと低くなります。圧力調整後は、調整ノブを押込みロックしてください。



## エアホースの接続

- ・本機はクイックジョイントタイプのカブラを採用しております。エアホースのエアプラグをカブラに合わせて押込むだけで簡単に接続できます。
- ・取外しは、エアホースを持ちカブラの外輪部を押してください。



## 安全弁

- ・本機には危険防止のために圧力を逃す安全弁が付いております。  
( 圧力開閉器の故障などにより、タンク内の圧力が異常に高くなった場合、圧力を逃します。 )

## 復帰ボタン

- ・本機にはモーター焼損防止のための保護回路機能が付いています。

圧力開閉器の故障などによりモーターが過負荷状態になった場合、保護回路が作動し電源が切れます。この保護装置が働いた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・過負荷の原因と思われる下記事項を確認してください。

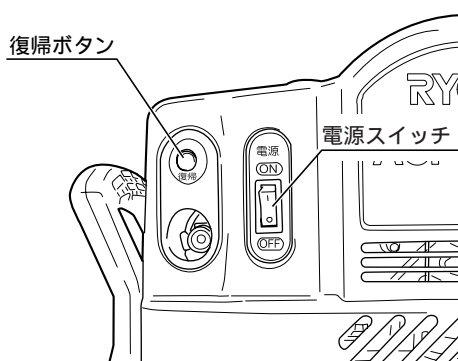
他の機器と同時に使用していないか

延長コードの長さは20m以上、太さ2mm<sup>2</sup>未満になっていないか

元電源の容量が30A以下になっていないか

過負荷の原因を取除いた後、復帰ボタンを押してください。その後、本機が冷えてから電源プラグを電源コンセントにさし込み、電源スイッチをONにしてください。

- (注) 運転を再開した後、保護回路が繰返し作動する場合は、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。



# 使用方法

## ⚠ 警告

- ・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- ・床面が硬く水平な場所で使用してください。高所（屋根など）で使用する場合は、必ず落下防止（グリップをロープなどで固定）してください。
- ・ご使用前に周囲に揮発性可燃物、腐食性ガスがないことを確認してください。
- ・木くずなどゴミ、ほこりの多い場所には設置しないでください。過熱事故や異常摩耗の原因になります。
- ・エンジン発電機、エンジンウェルダなどの直流電源では使用しないでください。発火や発熱、焼損の原因になります。
- ・ドレンコックを開きエアタンク内の圧縮空気、水を排出する場合は、排出口に顔を近づけたり、物を置いたりしないでください。圧縮空気による、事故やけがの原因になります。
- ・本機は、釘打機などの空気工具用のエアコンプレッサですので、連続運転となるような使い方はしないでください。製品寿命を早めたり、性能を低下させる原因になります。
- ・空気充填のまま長時間、直射日光に当てたり、高温な場所に放置しないでください。エアタンク内の圧縮空気が更に高圧になり破裂する恐れがあります。
- ・電源スイッチが正常に作動するかどうか、ご使用前に確認してください。スイッチが作動しない場合は、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

## ⚠ 注意

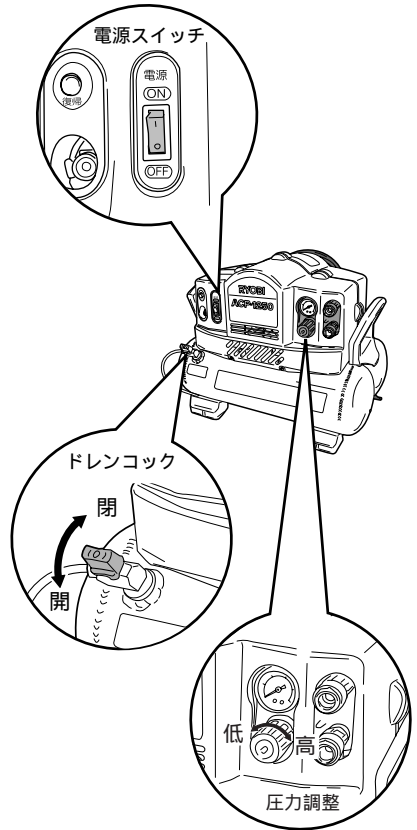
- ・使用中は、吸気窓および排気窓をふさがしないでください。モーター焼損の原因になります。
- ・エアタンク内の圧縮空気、水をすべて排出し終わってから、エアホースを外してください。圧縮空気が残ったままエアホースを外すとカプラが跳ね、けがや事故の原因になります。
- ・本機を縦置きにしての運転、運搬、保管は絶対にしないでください。

ご使用になる時は次の手順で行なってください。

1. 電源スイッチがOFFになっている事を確認し、電源プラグを電源コンセントに接続します。この時アースクリップも確実に接続してください。
2. ドレンコックを全開にし、電源スイッチをONにします。ドレンコックから空気の出ることを確認してください。
3. ドレンコックを全閉にします。エアタンクの圧力が上昇し、自動的に機械が停止することを確認します。
4. 減圧弁調整ノブにより吐出し圧力を使用する圧力に合わせます。
5. 圧力調整が終わりましたら、カブラに使用するエア工具（エアホース）を接続し、作業を始めてください。

ご使用後は

1. 電源スイッチをOFFにし、電源プラグを電源コンセントから抜きます。
2. ドレンコックを開き、タンク内の圧縮空気と水を抜きます。
3. エアタンク内の圧縮空気、水が全て抜け、圧力計が0MPaとなっていることを確認後、ドレンコックを閉じて、エアホースを取外してください。
4. 電源コードを背面のコード掛けにきれいに収納してください。



その他のご注意

1. 本機は釘打機を対象としており、連続運転では使用できません。
2. 寒冷地（凍結する温度以下の環境）の場合は、
  - ・ドレンの凍結による作動不良、場合によっては損傷にいたることがありますので本製品自身を暖めてから運転させるような凍結防止の処理を行なってください。
  - ・低温での起動不良が発生した場合は、直接電源を接続して、ドレンコックを全開にして暖気運転をしばらく行なってから使用してください。

## 運搬

### 警告

- ・ 落としたり、ぶついたりするとエアタンクなどに変形や破損を生じ、運転中に圧力により、破損片が飛散し、事故やけがの原因になります。
- ・ ハンドルに変形や破損およびネジのゆるみがある場合、運転中に落下して破損および事故やけがの原因になります。
- ・ ハンドル、エアタンクなどに変形や破損およびネジのゆるみがある場合は、そのまま使用せずにお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・ コードを無理に引っ張らないでください。断線やショートの原因になり、焼損事故につながります。

1. 運搬はていねいに行なってください。
2. 車での運搬時は、移動防止を施してください。

# 保守と点検

## ⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

### 各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

### 使用後の手入れ

- ・ご使用後は必ずドレンコックを開き、水抜きをしてください。また油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。

### 作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下の恐れのあるところは避けてください。
- ・長期間（1ヶ月）ご使用にならない場合は、保管前にドレンコックを全開し、5分以上の運転（水抜き）を行ない、サビつきなどによる不具合を防いでください。

### 修理について

- ・運転中、次のような異常がありましたら運転を中止し、お買い上げの販売店にお問合わせください。
  - a. 電源スイッチをONにしても圧縮機が運転しない。
  - b. 運転はしているが、圧力が上昇しない。圧力の上昇が極端に遅い。
  - c. 運転中に異常振動や異常音がする。
  - d. 空気もれがする。
  - e. 圧力開閉器が作動せず、保護回路や安全弁が作動する。

その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

### 定期点検について

- ・1年に1回（または実働約500時間）の割合で、エアフィルタ・Oリングなどの点検や、機械のオーバーホール・消耗品（ベアリングなど）の交換のため、定期点検を行なってください。定期点検および部品交換は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、  
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

**RYOBI**

発売元

**リョービ販売株式会社**

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141

<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>